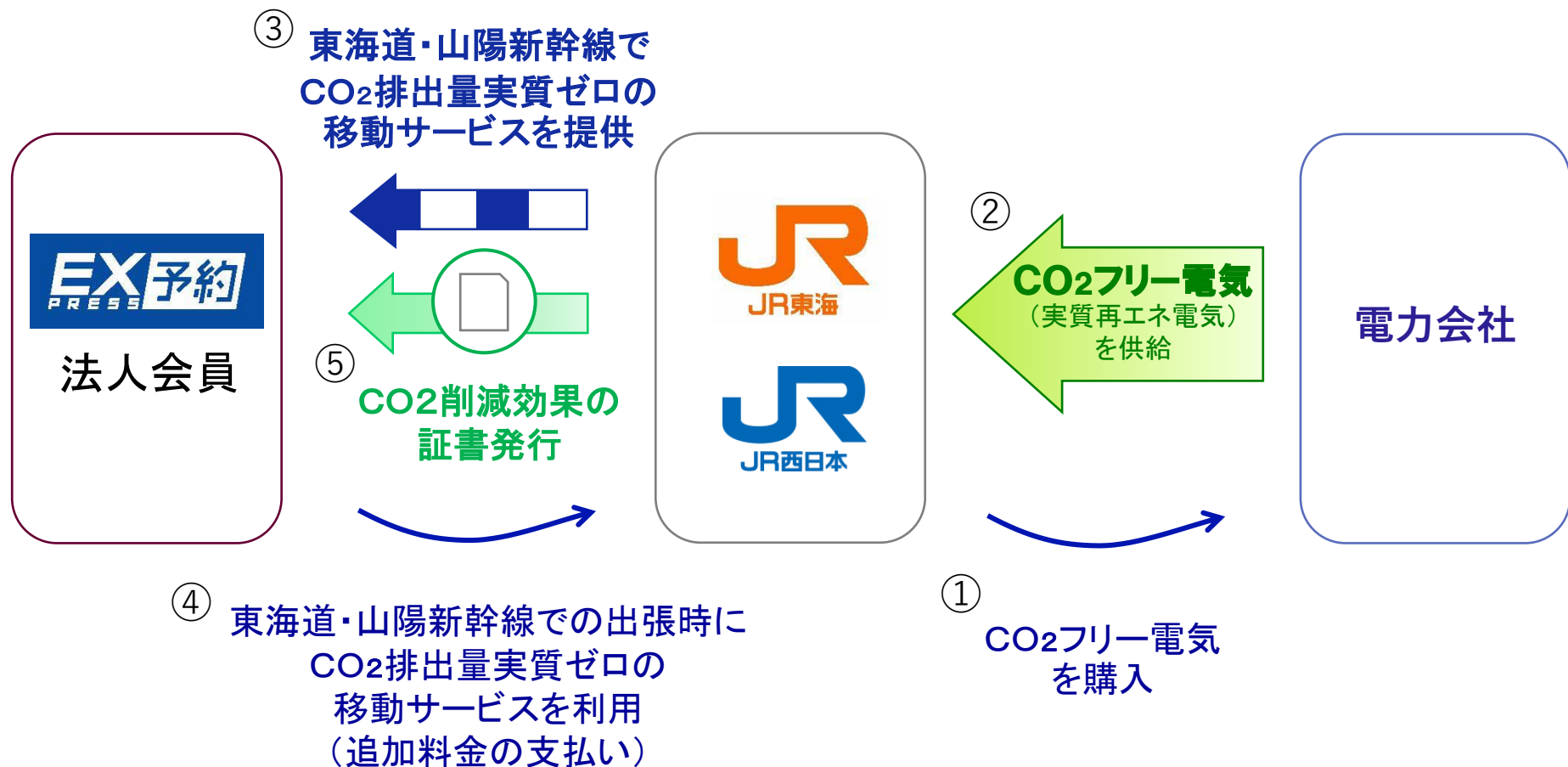


東海道・山陽新幹線におけるCO2排出量実質ゼロ化のサービス開始について

<サービスのスキーム（イメージ）>



アストラゼネカ株式会社について

アストラゼネカは、サイエンス志向のグローバルなバイオ・医薬品企業です。日本では、主にがん、循環器・腎・代謝、呼吸器・免疫疾患およびワクチン・免疫療法を重点領域として患者さんの健康と医療の発展への更なる貢献を果たすべく活動しています。

会社概要

- 本社：大阪府大阪市
- 発足：2000年1月
- 2022年売上：4,110百万ドル¹
- 従業員数：約 3,600人



アストラゼネカ株式会社 代表取締役社長 堀井 貴史コメント

「気候変動は21世紀最大の公衆衛生の危機です。気候変動関連死は新型コロナウイルスによる死亡者数を超えると予想されています²。この危機に立ち向かうには、社会全体で連携して大幅なCO₂排出削減に取り組むことが不可欠であり、企業のより積極的な対応が必要だと考えています。本スキームがScope3削減の推進、そして企業の環境保全の新たなスタンダード確立に寄与することに期待しています」

アストラゼネカの脱炭素へのコミットメント

アストラゼネカは、「人々の健康の実現には、社会・地球の健康が不可欠である」と考え、2030年までにカーボンネガティブ、2045年までにネットゼロを目指し、科学的根拠に基づいた取り組みを世界規模で進めています。

日本での脱炭素のパイオニアとしての取り組み

Scope1（自社の直接排出）：日本最大級規模のバッテリー式電気自動車（BEV）導入（約60%）

Scope2（供給された電気等の使用に伴う間接排出）：

- 国内全拠点の実質再生可能エネルギーへの切り替え完了（2022年末）

Scope3（事業活動に関連する他社の排出）：

- 19年東京－大阪間の出張を飛行機から新幹線に切り替える「スマートトラベル」を導入
- JR東海/JR西日本との新スキーム導入により、推計（東海道・山陽管内（東京～博多））で約184トンのCO₂排出を削減。

1. アレクシオンファーマ 希少疾患部門 の売上収益が含まれる

2. United Nations at : <https://www.un.org/sites/un2.un.org/files/2021/08/fastfacts-health.pdf>の気候変動関連死およびWHO Coronavirus (COVID-19)

Dashboard : <https://covid19.who.int/> より死亡者数累計データより年別の死亡者数を算出,比較した場合